

科目名 Course Name	教育実習事前事後指導 Pre-post Guidance and Teaching Practice			ナンバリング No.	K3-013	
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態 演習
担当者氏名	栗原 多恵					
連絡方法	講義棟3階研究室か、メール、C-Learning で対応する。					
必修/選択	選択(幼稚園教諭二種教職課程必修)					
関連 DP	DP2, DP3					
授業の概要と到達目標	幼稚園での教育実習に臨むにあたっての意義を確認し、やるべきことを各自がしっかりと踏まえ、必要な学びと準備を進める。教育実習生としての自覚を持った行動と取り組みを心がけ、幼児教育の保育内容に対して発達段階を考慮した思考で取り組むことができる。					
授業の方法	実習前:実習幼稚園(認定こども園)の教育目標を確認したうえで、自身の目標を立てていく。立案に向けた準備では教材研究を重要な課題と捉え、演習活動に取り組む。 実習後:記録の提出を含め、事後の取り組みが適切に行われているかを確認する。さらに、学びの確認としては、自己評価やふりかえりのディスカッションも取り入れる。					
学習成果	L01					
	L02	広い視野を持って幼児教育者としての自覚と自信を持つことができる。				
	L03	習得した技術や知識を基に実習の準備を進めることができる。(実習計画・オリエンテーション・責任実習立案・保育実技)				
	L04					
課題に対するフィードバック	授業内の演習活動ではその場で対応し、内容によっては個別の意見交換と指導を行う。各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。					
教科書/参考図書	「教育実習の手引き」(佐野日本大学短期大学) / また、学内の図書館において、自身が必要とする専門書を持参し参考にする。					
履修上の留意点やルール等	実習前の多欠席や課題の未提出、授業参加への意欲の低下が認められた際は、個別の面談によって今後の取り組み方の確認をする。事前・事後学習時間の目安は各回 45 分相当とする。					
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:幼稚園教諭 職歴:通算9年) 日誌・指導案・製作等だけでなく、現場で必要とされる資質を具体的に指導したい。					

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	実習園の教育方針に適した実習計画と準備ができている。オリエンテーション持参書類の、書類の扱いと管理ができている。実習目標を示した「実習に臨んで」を、幼児教育として適切な文言を用いて書き、提出期限を守って提出できている。			30	
レポート/作品	実習指導案作成に向けた製作物の持参と、実習指導案の作成および再構成(自身が作成した実習指導案に対して、実際に保育実践したことによる評価反省に基づいた加筆修正)ができている。 指定の設問用紙に示してある内容に対して、実習体験と振り返り・自己評価ができている。			60	
発表	振り返りのポスター作製と発表が要点を押さえている。		10		
小テスト					
試験					
その他					
合計			10	90	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の内容・進め方・評価の方法) 教育実習園の教育課程を確認し、実習準備計画を立てる。
	事前・事後学習	観察実習におけるふりかえり・実習計画を基にした実習までの日程調整
2	授業内容	事実に即した記録の観点の確認・実習持参書類の確認・オリエンテーション訪問計画
	事前・事後学習	観察実習におけるふりかえり・持参書類の確認と実習への電話連絡
3	授業内容	教科や専門的技術を活用した指導計画の立案 教材研究・立案の内容と方法
	事前・事後学習	保育実践に向けての教材研究・立案実現に向けての教材研究
4	授業内容	教科や専門的技術を活用した指導計画の立案 教材研究・製作物の保育展開
	事前・事後学習	教材研究(保育製作物の作成)・製作指導のための環境構成検討
5	授業内容	教科や専門的技術を活用した指導計画の立案 教材研究・環境構成
	事前・事後学習	物的な環境構成の準備・責任実習実施に向けた活動準備
6	授業内容	「実習に臨むにあたって」の課題を明確にし、遵守すべき義務等を理解する。
	事前・事後学習	実習園の教育方針等確認・教育者としての立ち居振る舞いの実践
7	授業内容	事例研究～年齢別保育に向けて
	事前・事後学習	発達過程の確認・年齢に合わせた保育内容の調査研究
8	授業内容	事例研究～製作の準備
	事前・事後学習	製作物の作成・「自分で作る」に向けた製作工程の確認
9	授業内容	事例研究～責任実習を想定した教師の関わり
	事前・事後学習	指導案作成・幼児教育としての教師の関わりの練習
10	授業内容	教育実習のふりかえり～得られた成果と課題等への個々の省察・自己評価
	事前・事後学習	実習中の資料等の確認・一時の自己表や反省にとどまらずふりかえりを継続する
11	授業内容	教育実習のふりかえり～グループディスカッション
	事前・事後学習	実習日誌に目を通す。他者の意見から得られた情報をまとめる。
12	授業内容	実習指導案の再構成～実習を経て得られた成果を基に教育的活動の再確認
	事前・事後学習	責任実習指導案に目を通し印刷し、振り返りと事後の学びを基に自己添削する。
13	授業内容	ふりかえりのポスター作製～学級経営・職務内容の実践報告を兼ねた構図の考案
	事前・事後学習	実習での学びをまとめておく。ポスター構図を確認する。
14	授業内容	ふりかえりのポスター作製～視覚的効果を考慮した作成と発表
	事前・事後学習	ポスター作製の教材研究。他者のポスターを見て学びを深める。
15	授業内容	事後指導を受け教育免許取得までにさらに習得が必要な知識と技術を明確にする。
	事前・事後学習	実習園からの評価を受け止め、幼児教育に向けた自身に必要な学びをまとめる。